



広報

とみおか9

No.599



離れていても大切な仲間

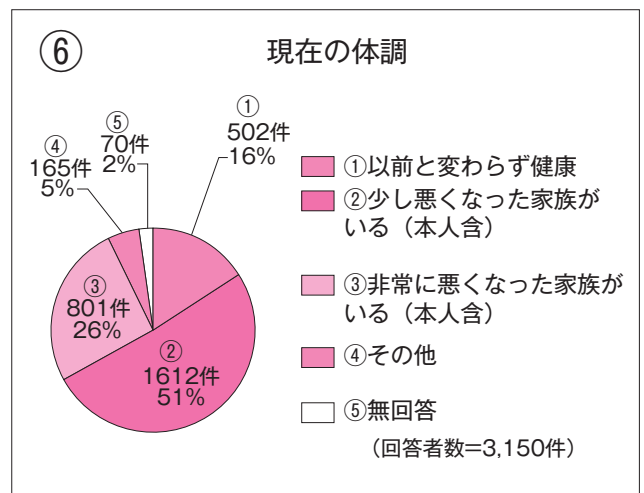
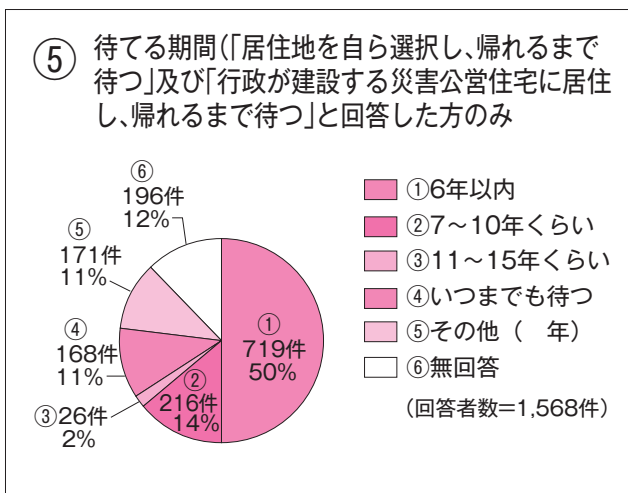
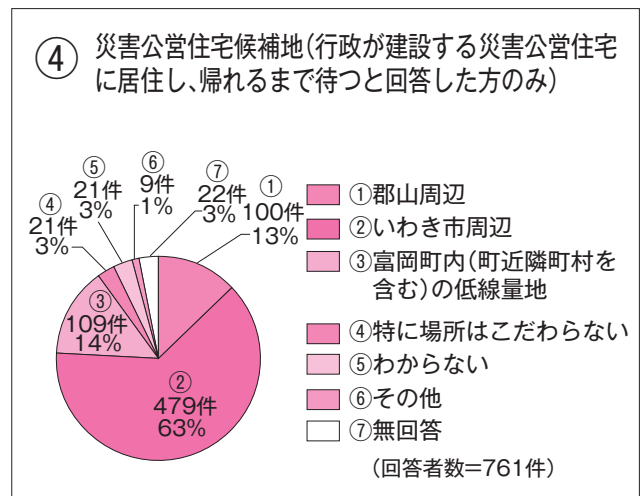
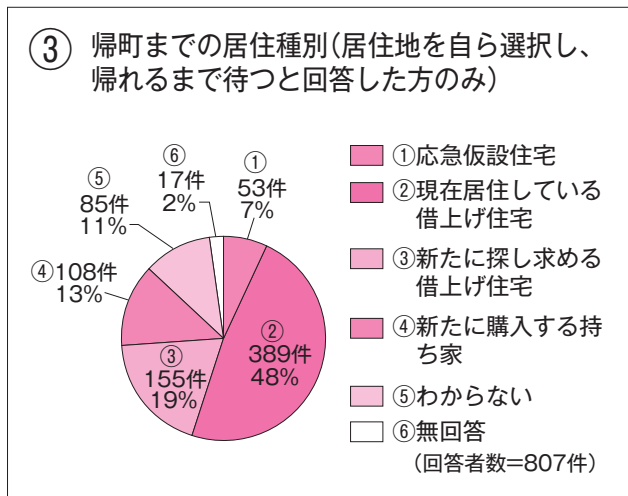
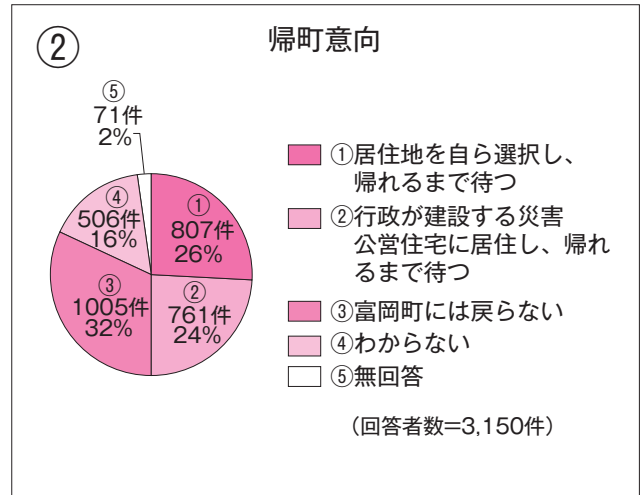
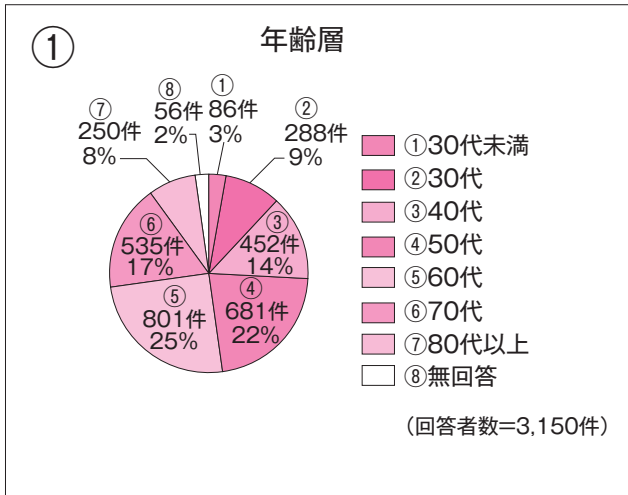
富岡町中学生再会のつどい

町民意向調査中間報告

本調査は、今後の町復興及び災害公営住宅等の生活拠点整備に反映させるため、町民の皆さまの居住関係等のご意向をお伺いし、世帯の代表者にご回答いただいたものです。

なお、中間報告は8月17日までに役場に届いた3,150通の回答を集計の対象としています。最終結果につきましては、集計がまとまり次第ご報告いたします。

ご協力いただきました皆さま、誠にありがとうございました。



お知らせ

印鑑証明書の発行について

10月1日より、印鑑登録証明書請求する場合、印鑑登録カードの提示が必要となります。

印鑑登録カードの再交付については、郡山事務所戸籍係または、いわき、三春、大玉の各出張所にお問合わせください。

健康福祉課 戸籍係

後納制度(国民年金保険料の納期限の延長)が始まります

これまで国民年金保険料は、納期限を2年経過すると保険料を納付することができませんでしたが、本年10月1日から3年間に限り、過去10年以内の納め忘れた保険料を収めることができる後納制度が始まります。

過去10年以内に納め忘れがある保険料を納付することで、将来の年金額を増やすことや年金受給資格を得られる場合もあります。

詳しくは、年金保険料専用ダイヤルまたはお近くの年金事務所へお問合わせください。

※すでに老齢基礎年金の受給権をお持ちの方は、納めること

ができませんので、ご注意ください。

※後納保険料を納付するために事前にお申し込みいただきます。審査させていただきます。

健康福祉課 国民年金保険料専用ダイヤル
☎0570-011-050

いわき出張所からのお知らせ

いわき出張所では、土日・祝日の閉庁日を日直により対応しておりますが、誠に勝手ながら10月より、土曜日のみ日直対応とさせていただきます。日曜日及び祝日におけるお問合わせは、郡山事務所にご連絡ください。

町民の皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

いわき出張所

総合検診を受診される皆さまへ

現在、県内に避難し総合検診を希望されている方に対し、順次ご案内を発送しています。総合検診の受付は、借用する会場合検診の規則上、ご案内の時間前に開始することができません。

受付開始までお待ち頂くスペースも無いため、時間前のご来場はご遠慮ください。また、ご協力をお願いします。

健康福祉課

原子力災害に係る不動産取得税の軽減制度について

現在、警戒区域等に指定されている区域内に、家屋とその敷地をお持ちの方が、それらに代わる家屋とその敷地を新たに取得した場合、一定の要件を満たしていれば、特例控除により不動産取得税の額が軽減されます。

詳しくは、新たに取得した家屋等の所在地を所管する地方振興局 県税部までお問合わせください。

連絡先	電話番号
県北地方振興局県税部	024-523-4699
県中地方振興局県税部	024-935-1254
県南地方振興局県税部	0248-23-1517
会津地方振興局県税部	0242-29-5254
南会津地方振興局県税部	0241-62-5213
相双地方振興局県税部	0244-26-1126
いわき地方振興局県税部	0246-24-6033

平成24年度総合検診の日程について

総合検診の実施会場が決まりましたのでお知らせします。検診当日は、町から届いた書類(総合検診受診録、承諾書等)と「保険証」(40歳未満は不要)を忘れずに持参してください。

○国保以外の保険に加入している40歳以上の被扶養者の方

特定健診を受診する場合は、保険者が発行した「受診券」と「保険証」が必要になります。「受診券」と「保険証」をお持ちでない場合は、特定健診を受診することができませんのでご注意ください。がん検診は、保険証の種類に関係なく受けることができます。ご不明な点については、お問合わせください。

郡山地区

実施月日	受付時間	実施場所
9月26日(水)	9:00~10:30	ビッグパレットふくしま Bホール 郡山市南二丁目52
9月27日(木)		
9月28日(金)		
10月1日(月)		福島県農業総合センター 郡山市日和田町高倉字下中道116

いわき地区

実施月日	受付時間	実施場所
10月2日(火)	9:00~10:30	中央台公民館 いわき市中央台飯野四丁目5-1
10月3日(水)		
10月4日(木)		泉公民館 いわき市泉町四丁目13-11
10月5日(金)		平体育館 いわき市平字正内町6-1

健康福祉課 国保の特定健診・後期高齢者の健診 国保年金係
上記以外の検診 健康づくり係

ふくしま大卒等合同就職面接会

新規大学等を卒業予定の方、平成22年3月以降に卒業して、現在就職活動をされている方を対象に、正社員で雇用する計画のある県内企業との面接会を左記日程のとおり開催します。ぜひご参加ください。

▼開催日時

【福島市】9月20日(木)

福島・二本松地区の企業40社が参加予定。

・実施内容

就職支援セミナー
12時30分～13時20分

合同就職面接会

13時30分～16時

・会場

コラッセふくしま

福島市三河南町1番20号

・お問い合わせ先

福島新卒応援ハローワーク
☎024-534-0466

【郡山市】9月28日(金)

郡山・須賀川・白河地区の企業70社が参加予定。

・実施内容

就職支援セミナー

12時～12時50分

合同就職面接会

13時～16時
会場

ビッグパレットふくしま

郡山市南2丁目52番地

・お問い合わせ先

郡山新卒応援ハローワーク
☎024-927-4633

▼主催

厚生労働省福島労働局、新卒

応援ハローワーク、福島県

▼その他

・事前申込不要。お気軽にお越しください。

・参加事業所は各会場の開催一週間前に、福島労働局ホームページ上で公開します。

・事業所のブースにおける人事担当者との個別面談、ハローワーク等各機関による職業相談・情報提供等を行います。

☎024-528-0366

厚生労働省福島労働局職業安定課

原子力損害賠償に係る
巡回法律相談のご案内

福島県では、福島県弁護士会と連携し、弁護士による対面の法律相談を行い被害者の皆さまを支援しております。

相談は無料ですので、請求手続きにおける不明な点など、お

気軽ににご相談ください。
なお、事前予約制となっておりますので、ご注意ください。

▼事前予約受付番号

☎024-523-1501

(原子力損害賠償等に関する問い合わせ窓口)

問合わせ窓口)

受付時間

8時30分～20時(平日)

▼相談時間

30分(13時30分から15時50分の間に実施)

▼相談料

無料

▼実施日程

左記予定表のとおり

福島県生活環境部

原子力賠償支援課

☎024-521-804

巡回法律相談実施予定表

実施地区	実施日	実施会場
福島市	9月19日	福島県青少年会館第6研修室 福島市黒岩字田部屋53-5
二本松市	9月12日	福島県二本松合同庁舎2階会議室 二本松市金色424-1
郡山市	9月12日	福島県郡山合同庁舎第4会議室
	9月19日	郡山市藤山1-1-1
	9月26日	※9/12は第5会議室
白河市	9月12日	白河商工会議所会議室
	9月19日	白河市道場小路96-5
会津若松市	9月14日	福島県会津若松合同庁舎本館1階会議室
	9月28日	会津若松市追手町7-5
相馬市	9月20日	相馬市玉野公民館会議室 相馬市玉野町56-1
南相馬市	9月13日	福島県南相馬合同庁舎402会議室
	9月27日	南相馬市原町区錦町1-30
いわき市	9月10日	福島県いわき合同庁舎南分庁舎3階中会議室
	9月24日	いわき市平字梅本15

食品等の放射能簡易検査実施内容の変更について

町では、7月2日から食品等の放射能簡易検査を開始しましたが、測定実施内容に変更がありますのでお知らせします。(詳しくは、広報とみおかNo.597をご覧ください)

▶変更内容(赤字部分が変更となります)

・検体の持込み方法

持ち込みの際はあらかじめ次のように準備して下さい。

①持ち込む量：500g及び1kg ※郡山市については500gとし、その他の会場は1kgとなります。

※500g及び1kgに満たない場合は、検査できませんのでご注意ください。

②よく洗ってからみじん切りにするなど、細かく加工し、常温に戻してから透明なビニール袋に入れて当日会場に持参して下さい。また、通常食べない部分は切り落として細かくみじん切りにして下さい。(ギョーザの具のようにして下さい)

※注意事項

・豆類は、通常食べないサヤの部分がある場合は取り外し刻むこと。

・乾燥椎茸等の乾物は、食べれる状態に戻し細かく刻むこと。

▶変更日 8月1日から

▶その他 食品等の放射能簡易測定についてはお気軽にご相談下さい。

県 産業振興課 地域振興係

被災された障がい者の皆さまへ

県内の相談支援事業所では、東日本大震災で被災された福島県内の障がい者の皆さまに対し、必要な情報の提供や様々なご相談を受け付けています。お気軽にお問合わせください。

▶相談内容

- ・避難先での生活について ・将来の生活について ・福祉サービスについて
- ・医療関係について ・教育や療育について ・就労について など

▶相談方法

電話やメールでの相談のほか、支援センター内での相談、ご自宅に訪問しての相談も可能です。

▶相談受付時間

平日 8時30分～17時30分

※あいえるの会・希望の杜福祉会は夜間、土日・祝日も電話対応しています。

▼相談支援事業所（福島県相談支援充実・強化事業）

担当地域	所 在	電話・FAX・Eメールアドレス
県中・県南 特定非営利活動法人 あいえるの会	〒963-8025 郡山市桑野1-5-17深谷ビルB棟101号 「JDF被災地障がい者支援センター」内	T E L 024-983-7646(夜間・休日転送) F A X 024-925-2429 E-mail hisaichisoudan@cameo.plala.or.jp
会津 特定非営利活動法人 あいえるの会	〒963-8025 郡山市桑野1-5-17深谷ビルB棟101号 「JDF被災地障がい者支援センター」内	T E L 090-1367-6854 F A X 024-925-2429 E-mail aizu.ilnokai@gmail.com
県北 社会福祉法人 牧人会	〒969-1301 安達郡大玉村大山字狐森29-1 福島県あだち地域相談センターあだたら	T E L 0243-48-3111 F A X 0243-48-3115 E-mail soudansienadatara@gmail.com
県北 社会福祉法人 陽光会	〒960-8254 福島市南沢又字水門下160-1 清心荘指定相談支援事業所	T E L 024-591-2190 F A X 024-591-3472 E-mail seisinsou-soudansien@youkoukai.jp
いわき 社会福祉法人 希望の杜福祉会	〒970-8026 いわき市平字堂ノ前2 「相談支援事業所ふくいん」内	T E L 080-6050-1134 F A X 0246-22-1233 E-mail p_s_kyouka@kibounomori.or.jp
南相馬 社会福祉法人 福島県福祉事業協会	〒975-0032 南相馬市原町区桜井町1-77-2 相談支援相馬事業所	T E L 0244-24-3553 F A X 0244-24-3527 E-mail nomaai-hg@lake.ocn.ne.jp
相馬 特定非営利活動法人 ひまわりの家	〒976-0042 相馬市中村字大町30 相談支援事業所陽だまり	T E L 0244-36-8711 F A X 0244-36-8711 E-mail himawarinoie-b@taupe.plala.or.jp

富岡消防署からのお知らせ

消すまでは 出ない行かない 離れない

～平成24年度全国統一防火標語～

9月9日は救急の日です

ケガや急病が起こった時、病院へ行く前に手当てをすることを「救急処置」と言います。

転んですりむいた傷口を水で洗ったり、やけどをしたらすぐに水で冷やしたりすること、病人やけが人の様子を見て救急車を呼んだりすることも立派な救急処置。大切なのは、正しい知識を身につけて、正しい手当てをすることです。9月9日は、救急の日。もしものために、正しい救急処置の方法を身につける機会にしましょう。

富岡消防署 檜葉分署
☎0240-25-2119

TOMIOKA

桜通信

さくら

富岡町敬老会（平成 22 年 9 月）
富岡町総合体育館にて

第5号



東日本大震災と原発事故により、私たちは、ふるさとを離れ、全国に分散した避難生活を強いられています。

この「TOMIOKA（とみおか）桜通信」では、避難生活を続ける皆さんのもとを訪ね、皆さんの声をお届けし、ふるさと「富岡」という「絆」をつないでいこうというものです。

まちの
思い出



まちの
思い出



私は震災発生まで、大熊町で歯科医院を開業していました。富岡町は隣町ということもあり、患者さんの約3分の1は富岡町民の皆さんでした。

震災発生当日、私は実家のある川内村に避難し、診察に訪れる患者さんがいるかもしれないということで、村内の診療所に待機。翌日には富岡町の皆さんが村に避難されて来ました。私の母は、四倉の道の駅で蕎麦店を開業しておりました。偶然にも、製造していた蕎麦が実家に保管されていたので、寒さに耐える富岡町の皆さんに温かい蕎麦を食べてもらいたい一心で、母と一緒に約4000食の蕎麦の炊き出しをさせていただきました。

3月16日、川内村も全村避難となったため、私は一旦県外の避難者受け入れ宿泊施設に避難しました。その後、いわき市に住む妹夫婦宅に避難し、岩手県の被災地で歯科医がボランティアで被災者の入れ歯を修理しているという報道を目にしました。私は、県内の避難所でも入れ歯や歯のトラブルを抱え困っている人がいるはずと思い、ボランティア活動を決意しました。当時は、物流が寸断されており、ガソリンを手に入れる事もままなりませんでしたが、2日間かけてガソリンを集め、歯科資材を提供していただくことになったメーカーのある仙台市内まで車を走らせました。また、私たちとは別行動でビッグパレットふくしま(BPF)に避難していた父から、BPFには富岡町民と川内村民が避難をしていて、救護所があるが歯科医が居ないという話を聞き、避難開始から10日目、BPFで歯科医療のボランティア活動を開始しました。

やはりBPFでも、歯の痛みを訴える人や、入れ歯の調子が合わなくなり食事が出来ず困っている人の姿が目につきました。入れ歯の調整は、歯科技工士である義弟(妹の夫)の協力も得て、平時と同様とはいかないまでも処置をすることが出来ましたが、歯の治

療は機材が無く出来なかつたので、BPFに開設された救護所で診察や口腔衛生指導を行い、状況に応じて近隣の歯科医への紹介を行っていました。

このような活動を続ける中、富岡町が大玉村に診療所を開設することになり、現在は毎週火曜・水曜日に診察を行っています。この診療所には大玉村仮設住宅に限らず、遠方の避難先からも治療に訪れる患者さん(町民)も少なくありません。

不自由で先も見えず、心も身体も押し潰されそうな日々が続いています。私自身、開業して約15年、日々積み重ねて来たものが、あの日以来壊されたままです。週2日の診察日以外は、避難先での開業も含めた今後に向けて、情報収集活動を行う日々を送っています。しかし開業以来、自分の理想とする歯科医療を実現するためにこれまで努力してきたこと、予防に重きを置いたり、患者さんを一個人ではなく「一家族」として家族全員を診て来たことなどから、そう簡単に新たな開業とはいかないのが現実です。

避難開始以来、身に耐える日々が続いています。皆さまも、少しでも身体に異常を感じたら、過信せずにしっかりと診察を受けるなど、身体だけは大事にしてください。



震災前の昨年2月、長年連れ添った夫が亡くなり、ひと月経って、身の回りの整理によくやく手を付ける気持ちになりかけたとき、震災に襲われました。

震災発生時、自らが営む衣料品店内のレジの前にいました。激しい揺れに動けなくなっていました。また、そんな中、前の通りの路面が陥没するなど、恐怖そのものでした。揺れが収まりしばらくすると、町内に住む次女が駆けつけてきてくれました。停電と寒さ、何度もくる余

震のため、自宅に留まることはできず、その夜は避難所となったリフレ富岡で過ごしました。翌朝、避難となったため一旦自宅に戻り、毛布などを持って、娘たちとともに役場から指示のあった川内村へと向かいました。

15日まで川内村で過ごしましたが、新潟に単身赴任していた長女の夫が、状況の悪化を心配して迎えに来てくれました。雪道の中を夜通し走り、翌朝、新潟に到着。現地の役所でスクリーニングを受けました。このとき既に福島県内からの避難者の姿がありました。スクリーニングでは、見たこともない機器を全身に当てられ、「自分たちは何一つ悪いことをしていないのに」と悲しさ、辛さ、悔しさを感じたことを今も忘れません。

その後、新潟県内や東京都内の避難所を経て、現在は郡山市内の仮設住宅で生活しています。

仮設住宅で暮らし始めた当初は、近所に知り合いも無くさびしい生活で、外に出ることすらためらってしまふような状態が続いていましたが、周りの皆さんから声をか

けていただき、今年の5月頃から、外へ出てみようかという気持ちになりました。現在は、週回数スポーツクラブで水泳をしたり、パッチワーク教室や茶話会に出かけています。

これまで、一時帰宅には3回参加しました。3回目ときは大雨で、店舗兼自宅は天井が落ち、雨漏りがしており、庭は草ボウボウ。まともに生活ができる、ましてや商売を再開できるような状態ではありません。また、夫の亡き後、東京にいた長男が戻ってくるはずでしたが、それも全て消えてしまいました。結局、一時帰宅の4巡目には参加しませんでした。

今は、私、次女夫婦と孫の4人暮らしです。震災までは、営んでいた店、つまり「商売」を中心とした生活でした。今の暮らしがこの郡山にあるからといって、商売を再開できるわけではありません。そうした商売を失ったことは残念なことですが、その分、商売を離れ自分自身の人生のために、有効に時間を使っていきたいと思っています。



磯村 福治さん (西原)

TOMIOKA 桜(さくら)通信



富岡町に来て約40年、こうした日が来るとは思いませんでした。私たち夫婦は愛知県出身ですが、私の勤務先が富岡町に進出するのに伴って富岡町に来ました。

震災発生当時、私は榎葉町内の事務所、妻は町内西原の自宅にいました。事務所、自宅とも、物が落ちたり倒れたりといった状況にはなりませんが、建物が大きく壊れるようなことはありませんでした。

私は、勤務先で東北地区を担当する役員(当時)をしていましたので、各地の現場に出ている社員の安否確

認などを行い、午後8時頃帰宅しました。

翌日は、朝から自宅の片付けをしていましたが、近所に人の気配が無いことで初めて異常に気づき、避難を開始しました。川内村に向かい、同村に住む部下の世話で手古岡の公民館にお世話になりましたが、16日の全村避難を受けて、一旦郡山に移動し、娘夫婦の住む小山市へ向かい現在に至っています。

富岡町に来た当時1歳だった娘もこの町から嫁ぎました。25年前には自宅を建て、10年前には改築してバリアフリーにしました。仕事を引退しても、老後はこのまま富岡町で過ごすと思っていました。また、嫁いだ娘にとって富岡町は故郷であり、私たち夫婦にとっても人生の大半を過ごした土地ですから、まさに故郷です。

一時帰宅にもこれまで参加してきましたが、自宅の中にはネズミやヘビが入り込み荒れ果ててしまいました。修理したからといって簡単に住めるような状態にはありません。

この小山市への避難した翌日(昨年3月17日)から勤務先の東京本社



陶芸「自信作」とともに

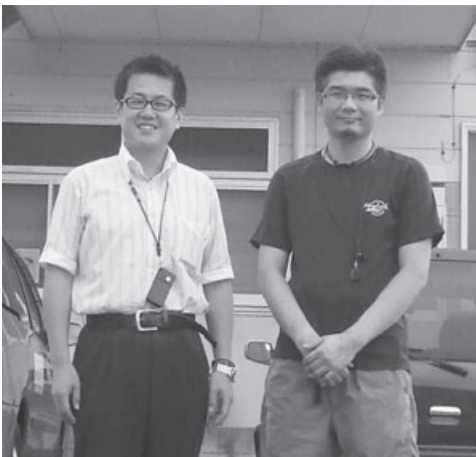
に通勤していましたが、仕事に目処がついたため、昨年8月に引退しました。

仕事を引退し1年になりますが、何もしなければ自分たちが駄目になる、それこそ「自立」どころではないと思います、外向きな性格も手伝って、地域の皆さんとともに陶芸をはじめたり、郡山市やいわき市を頻繁に訪れて、所属するロータリークラブのメンバー達と交流したり、評議員を務める東洋学園の運営を手伝ったりしています。また、栃木県内の避難者同士の交流などにも関わる、そうした日々を過ごしています。



社屋（開業当時）

私どもは、震災発生まで「観陽亭」として旅館や宴会場を営業していました。皆様ご存じのとおり、富岡漁港や蠟燭岩のほど近く、海岸線の高台に立っていました。震災では地震と津波の両方で大きな被害を受けました。しかし、発生当時はまだチェックイン時刻前だったため、お客様の入館も無く、スタッフを含めた人的被害が無かったことが不幸中の幸いです。観陽亭は旧・とりふじ別館の建物を利用し、双葉設備工業株式会社が支配人を務めていました。震災発生当時、操業4年目を迎えて利用客も増え、リピーターも多くな



志賀社長(右)と遠藤専務
同級生同士で頑張っています

り、本格的な営業展開もこれからという矢先でした。原発事故が無ければ、震災の翌朝から再建に向けて動き出せばはずですが、全てを諦め、それまで苦楽を共にしてきたスタッフも全員解雇せざるを得ませんでした。震災発生直後から始まった避難生活の中、「このままでは終われない。観陽亭という名の夢の続きを追いかけていきたい…」と思いついて立ち上がることにしました。物件探し、人集め、資金工面など苦しいことの連続でしたが、観陽亭という屋号を引き継ぎ新しく会社を立ち上げ、旧・観陽亭のスタッフも加わり、昨年9月1日、弁当製造販



調理作業の様子

〒九七〇一〇二二二
いわき市平沼ノ内字代ノ下九〇
電話 (〇二四六) 三九一三三八三
FAX (〇二四六) 三九一三三八七

売として、初日注文「36食」からスタートしました。現在、従業員は30名、うち6名が富岡町民の皆さんです。発足から1年が経過しましたが、まだ、手探り状態が続いています。しかし、またいつか富岡町を含めた「双葉という土地」で、商売や暮らしができるような日のために、そうした将来を見届けるべく皆さんのお力をお借りし、助けられながら頑張る日々です。

富岡高等学校女子バドミントン部 悲願のインターハイ制覇 「富高はひとつ」を合言葉に、走り続ける富高生たち



団体初優勝を遂げた女子バドミントン部



準優勝の男子バドミントン部



ジャンピングスマッシュを放つ東野有紗選手(左)

全国高校総体(インターハイ)バドミントン競技が、8月4日から6日まで福井県で行われ、富岡高校女子が学校対抗団体戦で初優勝を飾るなど、大きな活躍を見せました。

富岡高校バドミントン部は、平成18年度からスタートした双葉地区教育構想により富岡一中バドミントン部と共に競技力向上を図って来ましたが、原発事故のために状況が一変。一時は部の存続も危ぶまれ、また数名が転校を余儀なくされるなど、選手たちに厳しい試練をもたらしました。

震災から約二ヶ月後、バドミントン部は同校のサテライト校を開設した猪苗代町で活動を再開。限られた練習環境の中、選手たちは「自分たちが競技を続けられるのは、富岡町や猪苗代町をはじめとする多くの方々のご支援のおかげ。その恩返しのために頑張ろう」と厳しい練習に励み、昨年度大会を上回る好成績を収めました。

**若い力を
復興の原動力に**

現在富岡高校は、猪苗代町・福島市・いわき市・静岡県と、4カ所のサテライト校に分かれて授業を行っていますが、生徒たちは「富高はひとつ」を合言葉に、希望を持ち前向きに学校生活を送っています。

彼らの若さと可能性が、今後の復興に向けての大きな力となるよう期待して止みません。

大会を終えて

富岡高等学校バドミントン部

顧問 大堀 均

インターハイでの成績は、選手・スタッフ・保護者、そしてご支援くださった全ての方々の思いがひとつの大きな力となった結果だと思えます。最後まで転びながらもシャトルを追いかける選手、声が枯れるまで全力で応援する控えの選手。そんな彼らの姿に諦めないことの大切さと素晴らしさを教わりました。

我々をご支援くださる富岡町の皆さま、本当にありがとうございます。

私たちはいつの日か富岡に帰れる日を信じ、これからも諦めずに頑張ります。

全国高校総体バドミントン競技 主な成績(敬称略)

◇学校対抗団体戦

・男子 準優勝 ・女子 優勝

◇個人戦

・男子シングルス

優勝 桃田賢斗(3年)

準優勝 小林優吾(2年)

・女子シングルス

第3位 大堀 彩(1年)

・男子ダブルス

準優勝 桃田賢斗・松居圭一郎組(3年)

友情と絆を深め合う

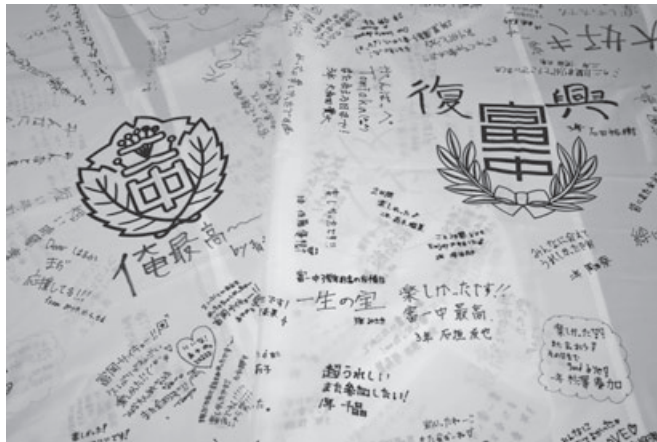
富岡町中学生再会のつどい

富岡町教育委員会主催による平成24年度「富岡町中学生再会のつどい」が、8月24、25日の2日間、郡山市磐梯熱海温泉「華の湯」で行われました。

このつどいは、全国で避難生活を送る中学生に友人と再会する機会を提供し、富岡を忘れず、お互いの絆を深めてもらうことを目的に開催されたもので、現在の中学1年生から3年生までの富一中生99名、富二中生126名が参加し、友人との親交を深めました。

参加した生徒たちからは「久しぶりに友達に会えて嬉しい」「つどいを楽しみにしていた」と声があがりました。

また、保護者の一人は「皆離ればなれになってしまい、再会の機会を設けてもらえて良かった。幼稚園、小学校時代を一緒に過ごした友達には、特別な思いがある。再会できた事が、明日からの励みになると思う」と話され、会場に溢れる子ども達の笑顔や歓声に目を細めていました。



本中イーグルス少年野球クラブ 長野県のチームと交流



交流を深めた両チームの子どもたち

富岡町で活動していた学童野球チーム「本中イーグルス」が、8月10、11日の2日間、長野県小諸市で東雲野球部の皆さんと交流会を行いました。

この交流会は、東雲野球部の竹内監督から「子どもたちの発案で、原発事故により被災した富岡町の子どもたちを長野県に招待し、野球を通して交流を図りたい」と連絡を頂いたことがきっかけで実現したものです。

交流会には8家族25名が参加し、練習試合を通して親睦を深めました。当日は、東雲野球部の父兄の方や大塚子ども育成会会長、東雲区役員の皆さんより心温まるおもてなしを受け、多くの皆さんの温かい人情に感謝をしながら楽しい2日間を過ごしました。

8月5日に玉川村で行われた第65回福島県総合体育大会スポーツ少年団剣道大会において、富岡町少年剣道団が優勝し大会初となる5連覇を達成しました。

同剣道団は震災後も稽古を重ね、多くの大会で上位入賞を果たしてきましたが、今大会も感謝の心と自信を胸に戦い抜き、参加41チームの頂点に立ちました。

この大会は、9月に大阪府で行われる全国都道府県大会の予選も兼ねており、指導責任者の小林卓司さんは「少ない人数ながら選手たちが頑張って優勝することができた。また、最後までご声援をいただいた相双地区のチームの皆様にも御礼を申し上げたい。」と語られ、全国大会へ向けて団員らとともに決意を新たにしていました。

富岡町少年剣道団 福島県総体で5連覇達成



大会5連覇を成し遂げた団員と指導者の皆さん

富岡町童謡・唱歌を歌う会 富岡の子どもたちにと浄財を寄付



庄野教育長に寄付金を手渡す荒川会長(右から2人目)ら
会員の皆さん

富岡町童謡・唱歌を歌う会(荒川マサ子会長)が町教育委員会を訪れ、「富岡町の子どもたちのために役立ててください」と浄財を寄付されました。

このお金は、平成23年11月に行う予定だった会発足5周年記念発表会の資金として運用を予定していたもので、荒川会長は「現在、会の活動は休止しており、役員の中で話し合い寄付を決めました。今後は、再開できるきっかけなどがあれば、ぜひみんなで集まりたいです。」と語られました。

富岡の小学生と女子大生が デザート作りで楽しく交流

富岡ロータリークラブ主催による「子供達との心の交流事業」が、8月20日、富岡町こおりやま児童クラブで行われ、参加した8名の小学生が郡山女子大学の学生とデザート作りにチャレンジしました。

この催しは、避難生活が続く富岡の小学生に少しでも元気になってもらいたいとの思いから企画されたもので、児童たちは大学生と一緒にオリジナルのパフェを作りながら、楽しい時間を過ごしました。

参加した永盛小学校4年の安齋朋夏さんは「大学生のお姉さんたちと作ったパフェはとても美味しかったです。家でも家族に作ってあげたいです。」と笑顔で話してくれました。



東京の遊具メーカーが 富岡小学校三春校に遊具を寄贈



待ちに待った遊具に大喜びの児童たち

東京都の遊具メーカー・タカオ社から、富岡小学校三春校に遊具一式(約400万円相当)が寄贈されました。

工場の敷地内に設置された学校には遊具類が無く、児童たちに思い切り遊んでもらいたいとの思いから同社が支援を申し出たもので、仮設校舎脇のグラウンドにジャングルジムや鉄棒、ブランコ、滑り台、うんていが設置され、昼休みには遊具で遊ぶ児童たちの元気な声が響き渡っています。

埼玉県杉戸町から 災害対策車両が贈られました

本町と友好都市協定を結んでいる埼玉県杉戸町より、災害対策車両(いすゞビッグホーン)が寄贈されました。

7月25日に富岡町役場郡山事務所を訪れた杉戸町の古谷松雄町長は「まだまだ大変な状況が続きますが、必ず訪れる復興の日を信じて前へ進んでください。杉戸町はいつでも富岡町を応援しています。」と語られました。

杉戸町には震災後の避難所設営から現在まで、物心両面からご支援を頂いており、今回寄贈された車両は富岡町役場三春出張所に配置されます。



遠藤町長に車両名義書を手渡す杉戸町古谷町長(中央)
右は宮本町議会議長

さわやかな高原の夏を満喫 デコ平湿原木道ウォーキング

NPO法人さくらスポーツクラブ主催による健康ウォーキングが、8月4日に裏磐梯グランデコリゾートにおいて行われました。

当日は快晴に恵まれ、高原を吹き渡る風と深緑の木々の出迎えを受けた参加者の皆さんは、健脚コースとゆったり散策コースに分かれ、眼下に広がる猪苗代湖などの景色を眺めながら、楽しい夏の日を過ごしました。



最高のプレーで町民に元気と勇気を 市町村対抗軟式野球大会が9月に開幕



昨年度大会より

第6回市町村対抗福島県軟式野球大会が、9月8日(土)に開幕し、県内58チームが福島市のあづま球場で熱戦を繰り広げます。

富岡町は、9月29日(土)の第一試合(午前8時開始予定)で金山町と対戦します。県内外の避難先から集結し、町の名誉と自身のプライドをかけ試合に臨む選手たちに、皆さまの大きなご声援をよろしくお願いいたします。

☎(財)富岡町体育協会
080-2826-0227

投稿

励まし合った同級会

さいたま市岩槻区

堀本秀雄

喜寿を迎えた私たちは、今から60数年前、富岡第二中学校(旧上手岡村)を卒業し、元気に暮らしていました。しかし、原発事故のため、生まれ育った故郷から着の身着のまままで避難し、親子別々の生活を余儀なくされています。そして77歳の喜寿を、孫に囲まれて祝えなかったのが残念でなりません。

避難生活から一日も早く故郷に帰れる日を願いながら、「心の傷」を癒そうと数人の方と相談し、同級会を開くことになりました。会場は、避難されている人たちが参加しやすい場所は何処かと考え、郡山市の磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」を選びました。

同級会は、5月16日から一泊二日で行われました。参加者は避難されている方18名、避難されていない方12名の計

30名(男性12名、女性18名)で、懇親会では昔の思い出話や好きなカラオケで盛り上がり、心の傷を癒し、絆を深め合うことが出来ました。

長引く避難生活の中で同級生3名が亡くなり、また、ご主人を亡くされて納骨も出来ない方もあります。一日も早く故郷に帰れることを願いつつ、来年の再会を約束し散会となりました。



同級会で喜寿を祝い、絆を深めた参加者の皆さん

投稿

毛萱行政区民の集いを開催

毛萱行政区長

佐藤謙一

毛萱行政区(佐藤謙一区长)では、このほど第2回目の集いを催しました(1回目は今年1月にいわき市にて47名が参加し開催)。

東京電力福島第一原子力発電所の事故により、区民100名が県内外に避難、7月1日〜2日(一泊二日)に郡山市磐梯熱海温泉・栄楽館にて30名が参加、久しぶりの再会を喜び合い、懇親会の前に全員で記念撮影を行いました。

懇親会ではお互いその後の近況を語り合い、賠償問題や、故郷にはいつ帰れるのかといったお話も多々あり、今後定期的な年に2回程度、集会を催すことを確認いたしました。

当行政区は、地震・津波・放射能汚染と三重苦の避難生活を強いられ、県内外における慣れない暮らしも限界のよ

うです。原発事故の収束を願い、今後の除染問題、賠償問題といったことについても、一日も早く解決されるよう望みます。



お互いの親睦と絆を深め合った毛萱行政区の皆さん

町内の放射線量

富岡町が独自に実施した町内の空間放射線量の測定結果をお知らせします

測定場所	8月10日(晴れ)			測定場所	8月16日(晴れ)		
	地上1m マイクロシーベルト/h	地上1cm マイクロシーベルト/h	年間積算量1m ミリシーベルト		地上1m マイクロシーベルト/h	地上1cm マイクロシーベルト/h	年間積算量1m ミリシーベルト
下千里消防屯所	3.65	4.16	19.18	小浜住宅団地内公園前	5.28	6.59	27.75
上千里消防屯所	2.89	3.61	15.19	双葉環境センター	2.41	2.93	12.67
杉内消防屯所	2.80	3.27	14.72	NHK電波塔入口(浜街道)	4.68	7.19	24.60
第二工業団地入口	3.22	4.01	16.92	深谷集会所	6.29	9.02	33.06
高津戸集会所	5.91	9.11	31.06	赤坂神社前	7.35	9.19	38.63
富岡第二中学校	5.16	4.92	27.12	太平洋ブリーディング前	13.80	21.20	72.53
新夜ノ森集会所	6.93	10.00	36.42	みよし前交差点	8.95	12.80	47.04
夜の森公園	3.03	4.48	15.93	富岡自動車学校前	8.54	13.80	44.89
松の前待避所	12.00	18.00	63.07	リフレ富岡	5.62	7.06	29.54
小良ヶ浜集会所	8.15	8.93	42.84	東洋育成園前	4.53	5.23	23.81
町境(小良ヶ浜地区)	5.62	8.28	29.54	富岡インター駐車場	4.65	5.13	24.44
深谷消防屯所	6.95	9.67	36.53	上手岡児童館	3.61	4.05	18.97
富岡野球場	6.44	8.38	33.85	下千里ライスセンター前	3.38	4.24	17.77
観陽亭前	1.15	1.11	6.04	館山荘前	4.43	4.45	23.28
富岡合同庁舎西側	3.04	4.42	15.98	夜の森つつみ公園	5.71	8.03	30.01
富岡養護学校	4.25	6.15	22.34	総合グラウンド東側駐車場	6.24	8.75	32.80
老人福祉センター	6.58	9.62	34.58	華の樹前	7.16	9.75	37.63
夜ノ森駅	7.23	10.20	38.00	宝泉寺前	4.83	5.61	25.39
王塚集会所	5.72	8.87	30.06	国道6号第二原発入口前	1.50	1.66	7.88
諏訪神社前	4.92	7.10	25.86	猪狩スタンド前	1.53	2.18	8.04
上本町消防屯所	3.46	6.03	18.19	なべや駐車場前	1.29	1.37	6.78
上本町集会所	3.28	4.17	17.24	大東銀行富岡支店前	3.20	4.39	16.82
リベラルヒルズ入口	2.67	4.03	14.03	富岡漁港	0.85	0.88	4.47
赤木集会所	2.25	2.96	11.83	サンライズイン富岡前	1.28	2.00	6.73
上郡山集会所	2.30	2.73	12.09	福島富岡簡易裁判所前	2.45	3.89	12.88
太田集会所	1.35	1.89	7.10	ヨークベニマル富岡店前	2.97	4.41	15.61
原下消防屯所	1.23	1.91	6.46	今村病院前	5.63	9.24	29.59
富岡駅	0.55	0.43	2.89	福島銀行富岡支店前	2.83	5.06	14.87
清水消防屯所	1.90	3.13	9.99	龍台寺前	2.85	4.01	14.98
役場	2.40	3.66	12.61	清水団地前	2.68	2.91	14.09
浄化センター	0.82	0.80	4.31	猪狩電気通信工業前	3.07	4.64	16.14
毛萱集会場	0.76	0.86	3.99	上郡消防屯所	2.69	3.17	14.14
富岡保育所	2.41	2.60	12.67	岩井戸鉱泉	1.41	1.60	7.41
中央児童館	2.88	3.93	15.14	富岡工業団地	2.11	2.42	11.09
栄町駐車場	2.19	2.89	11.51	成沢の滝入口	1.84	1.69	9.67
岩井戸消防屯所	1.66	2.22	8.72	沼名子橋	3.06	4.05	16.08

測定器：γ線用シンチレーションサーベイメータ(日立アロカメディカル社製)

【年間放射線量 算出方法(原子力安全委員会算出式)】

※1ミリシーベルト=1000マイクロシーベルト

1日のうち屋外に8時間、屋内(遮へい効果(0.4倍)のある木造家屋)に16時間滞在するという生活パターンを仮定した場合
 今回の測定値×(8時間+0.4×16時間)×365日=年間放射線量(マイクロシーベルト)

連絡先一覧

○富岡町社会福祉協議会

〒963-8041

福島県郡山市富田町字若宮前32

高齢者等サポート拠点施設内

☎024-935-3345 FAX024-935-3334

○財団法人富岡町体育協会

〒963-0201

福島県郡山市大槻町字中柵31-1

大槻公民館大槻分室内

☎080-2826-0227 FAX024-961-1301

○NPO法人さくらスポーツクラブ

〒963-0201

福島県郡山市大槻町字中柵31-1

大槻公民館大槻分室内

☎080-3141-0068 FAX024-961-1301

○おだがいさまセンター

〒963-8041

福島県郡山市富田町字若宮前32

高齢者等サポート拠点施設内

☎024-935-3332 FAX024-935-3334

○富岡町さくらサロン

〒960-8253

福島県福島市泉字泉川15-7

☎024-557-8780

○ふくしま絆カフェ富岡

〒963-8833

福島県郡山市香久池1丁目20-27

☎024-925-2337

○富岡町役場郡山事務所

〒963-0201

福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5

☎0120-33-6466 FAX 024-961-3441

・富岡町役場郡山事務所分室 一時帰宅対策班

〒963-0201

福島県郡山市大槻町字反田5-5

☎0120-33-6466 FAX024-953-6391

○富岡町教育委員会

〒963-0107

福島県郡山市安積1丁目39-1

山口薬品ビル内(安積行政センター東隣)

☎0120-33-6466 FAX 024-945-0348

○いわき出張所

〒970-8026

福島県いわき市平字梅本15

福島県いわき合同庁舎南分庁舎2階

☎0120-33-6466 FAX0246-88-1975

○三春出張所

〒963-7719

福島県田村郡三春町貝山字泉沢100-1

☎0120-33-6466 FAX0247-62-0901

○大玉出張所

〒969-1302

福島県安達郡大玉村玉井字台45-1

☎0120-33-6466 FAX0243-48-1147

・大玉仮設診療所

〒969-1302

福島県安達郡大玉村字横堀平158-10

☎0243-48-4710 FAX0243-48-4710

○富岡町議会事務局

〒963-0201

福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5

☎0120-33-6466 FAX024-961-3441

避難先届出のお願い

避難先住所の届出をされていない方や避難先を移動された方は、電話等により避難先の情報をお富岡町役場に届け出てください。



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。

発行 富岡町 〒963-0201 福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5

TEL : 0120-33-6466 FAX : 024-961-3441

E-mail : tomioka.machi@gmail.com

富岡町公式ホームページ【災害版】 <http://www.tomioka-town.jp/>

☒郡山駅前9番乗場発 新池下団地行きまたは 大槻行き

停留所 西の宮停留所

